

令和3年度事業報告書

I. 事業の状況

1. 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰（1号事業／11,073千円）

- (1) 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰については、以下の9件の個人・団体（番組）に対して「第30回橋田賞」として顕彰することとし、正賞として時計、副賞として賞金各1,000千円の助成を実施した。

橋田賞	「阿佐ヶ谷姉妹ののほほんふたり暮らし」	(NHK)
橋田賞	「日本沈没－希望の人－」	(TBS)
橋田賞	橋本 裕志	(脚本家／はしもと ひろし)
橋田賞	東山 紀之	(俳優／ひがしやま のりゆき)
橋田賞	中田 喜子	(俳優／なかた よしこ)
橋田賞	仲野 太賀	(俳優／なかの たいが)
橋田賞	井上 貴博	(アナウンサー／いのうえ たかひろ)
橋田賞新人賞	杉咲 花	(俳優／すぎさき はな)
橋田賞新人賞	吉沢 亮	(俳優／よしざわ りょう)

2. 脚本家、演出家、俳優等の人材育成（2号事業／2,947千円）

脚本家、演出家、俳優等の人材育成については、本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 令和3年度橋田賞新人脚本賞の公募

応募総数213篇で、日本脚本家連盟の一次審査の後、財団選考委員による審査の結果、該当なしであった。

3. 放送文化に関するシンポジウム、講演会の開催（3号事業／1,739千円）

放送文化に関するシンポジウム、講演会の開催については、本年度は以下のような事業を実施した

(1) 財団ホームページの開設

ホームページ上にて過去の新人脚本賞入選作ならびにオンラインセミナー等のコンテンツを掲載し橋田賞の価値を高める。

(2)「オンラインセミナー」の開催

- ・令和4年3月5日、石井ふく子プロデューサーと岡室美奈子早稲田大学教授による橋田先生を偲ぶオンラインセミナーを開催し、その模様は後日ホームページ上でも掲載した。

4. 顕彰対象作品の上映会の開催（4号事業／0円）

顕彰対象作品の上映会の開催については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考え本年度も開催を見送った。